

別紙様式 1

令和元年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県日峯大神子広域公園 徳島県文化の森総合公園 徳島県蔵本公園 徳島県新町川公園	施設所在地	徳島市大原町大神子7-1 徳島市八万町向寺山 徳島市庄町1丁目76-2 徳島市藍場町1丁目ほか
指定管理者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター	指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日
施設所管課	都市計画課	【連絡先】	088-621-2568

1 施設の概要

徳島県日峯大神子広域公園

設置年月日	昭和50年1月14日（都市計画決定）
設置目的	徳島市と小松島市にまたがり、大神子海岸、日峯山等風光明媚な自然を有し、自然環境の保全を基調とした野外レクリエーションの拠点となる広域公園
施設内容	こども広場、デイキャンプ場、展望広場、園路、テニスコート、休憩所、駐車場
利用料金等	テニスコート（使用料は、徳島県都市公園条例の規定のとおり）
開館日・休館日等	常時開園（テニスコート及び大神子テニスセンターを除く）。 テニスコート及び大神子テニスセンター ・利用時間 午前8:30～午後9:00（3月1日～11月30日） 午前8:30～午後5:00（12月1日～2月末日） ・定休日 年末年始（12月31日～1月3日）及び 毎週月曜日（祝祭日にあたるときはその翌日）

徳島県文化の森総合公園（博物館等の教養施設は本指定管理対象外）

設置年月日	平成2年11月3日
設置目的	徳島県のこれからの1世紀がより輝いたものとなることを願い「置県100年目のモニュメント」として構想されたもので、本県の文化活動の中核施設として文化施設を一堂に集め、その周りに公園施設を配し、文化施設と公園施設を一体化した総合公園
施設内容	園路、広場、駐車場、遊具
利用料金等	該当施設なし
開館日・休館日等	常時開園

徳島県蔵本公園（野球場等の運動施設は本指定管理対象外）

設置年月日	昭和27年5月19日（都市計画決定）
設置目的	第8回国民体育大会四国国体の高校野球競技場として旧陸軍練兵場跡に、建設された運動公園で、県内スポーツの中核施設として整備された公園
施設内容	ちびっこ広場、園路、花壇、駐車場、遊具
利用料金等	駐車場（駐車料金等は、徳島県都市公園条例の規定のとおり）
開館日・休館日等	常時開園

徳島県新町川公園（郷土文化会館は本指定管理対象外）

設置年月日	昭和30年3月19日（都市計画決定）
設置目的	徳島市中心部に位置し、徳島らしい特徴的な景観である新町川河畔区域で、様々なイベントの主会場となるとともに、日常的な利用や散策ができる県民憩いの広場として整備された公園
施設内容	園路、広場、あずまや、遊具
利用料金等	該当施設なし
開館日・休館日等	常時開園

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	運営管理業務 施設維持管理業務 利用促進業務 清掃業務 植栽維持管理業務 警備業務（日峯大神子広域公園、文化の森総合公園） 施設の使用承認に関する業務 使用料金の収受に関する業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 3名 非常勤職員等 6名 計 9名		
	公益財団法人徳島県建設技術センター本部 公園管理事務所 正規職員 3名 非常勤職員 3名 臨時職員 3名		

4 施設の利用状況

・ 日峯大神子広域公園テニスコート利用者数

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
元年度		3,503	4,224	3,690	5,957	6,185	3,666	3,864	3,527	3,366	1,986	1,910	2,650	44,528
前年度		4,779	4,536	3,874	4,266	7,385	3,117	4,395	3,930	3,363	2,075	1,788	3,756	47,264
前々年度		5,102	4,891	5,238	5,810	6,811	3,004	3,354	4,294	3,197	2,443	1,727	3,925	49,796

・ 日峯大神子広域公園テニスコート料金収入

月別使用料 収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
元年度		727	783	681	651	970	845	785	898	557	433	494	809	8,632
前年度		903	742	802	715	1,005	635	913	880	646	473	701	836	9,252
※県の歳入	前々年度	943	1,021	893	984	1,068	868	704	876	586	500	467	997	9,907

・ 蔵本公園駐車場利用料金収入

月別使用料 収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
元年度		659	1,238	1,248	1,087	1,224	934	894	692	540	541	455	558	10,070
前年度		640	902	1,226	1,033	988	744	713	601	465	481	535	752	9,079
※県の歳入	前々年度			1,015	1,133	1,010	616	755	593	506	419	442	760	7,248

施設毎 使用料収入 (千円)		庭球場	駐車場				計
元年度		8,632	10,070				18,702
前年度		9,252	9,079				18,331
※県の歳入	前々年度	9,907	7,248				17,155

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		令和元年度	平成30年度（前年度）	平成29年度（前々年度）
収 入	指定管理料	182,600	179,280	179,280
	利用料金収入	0	0	0
	その他	5,006	5,128	1,156
	計	187,606	184,408	180,436
支 出	人件費	44,869	45,150	43,855
	維持管理費	138,441	111,550	107,792
	諸経費	29,558	25,484	27,210
	計	212,868	182,184	178,857
収 支		-25,262	2,225	1,579

(千円以下を四捨五入しているため、内訳の合計と計が一致しない場合がある)

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・人件費 公園管理事務所に公園管理経験や施設管理経験の豊富な職員を配置し、効率的な運営を行うことでコスト削減に努めている。 ・維持管理費 職員で実施可能な除草や小修繕等は職員が行うとともに、第三者に委託する場合には競争入札で発注する等して、経費節減に努めている。 ・諸経費 本部組織と共同しての消耗品の一括購入、緑のカーテン運動等により事務所経費の節減に努めている。
サービス向上の取組	・テニスラケット、ボールの無料貸出の実施 ・テニス専門誌の購入 ・鯉のぼり・七夕飾り等季節の風物の展示 ・AED（自動体外式除細動器）の設置による緊急時への対応 ・車椅子の貸し出し ・花だよりや樹名板の設置 ・Facebook等のSNS環境による情報発信

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・テニス合宿の受入 ・硬式テニス教室の開催 ・公園イベントの開催 （ひのみねやまの工作教室、愛犬のしつけ教室、ネイチャーゲーム大会、樹木観察会、ガーデニング教室、写真教室、写真展示会、野鳥観察会等） ・地域ねこ活動の実施 ・季刊誌「こうえん」の発行（年1回発行） ・福祉団体と連携した清掃活動の実施、就業体験等の受入れ ・ミストシャワーの設置
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・利用者向け、イベント参加者向けといった積極的なアンケート調査の実施により、利用者ニーズの把握に努めている。 ・更なる利用者満足度向上のため、他県の公営公園を訪問し情報収集を行った。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・計画どおりに多彩なイベントが実施されるとともに、新規事業を企画するなど、利用者の増加に努めている。 ・利用者アンケートにおいて、良好な評価を得ている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・公園の状況に応じ、適切に維持管理・保守・修繕が実施されている。 ・県備品について、適正に管理されている。

項 目	評 価	点 検 結 果
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・日常的な施設点検を重視し、職員で修繕、遊具の調整等を積極的に実施し、経費削減を図っている。 ・施設の維持管理に関し、複数年契約の実施や公園独自の歩掛表を作成し、入札を実施する等して経費節減を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収 ・モニタリングの実施状況	A	・管理運営業務計画書に基づき適切に管理を行っている。 ・計画的に職員を研修に参加させ、資質向上に取り組んでいる。 ・セルフモニタリングを実施し、業務改善・向上に取り組んでいる。 ・情報公開、個人情報保護等必要な諸規定が整備できている。 ・テニスコート、駐車場の使用料金の徴収に係る帳簿類が適正に整備されている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・職員の労働条件について、事業計画書に記載した内容が確保されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員はすべて県内雇用されている。 ・地元企業への業務委託に努めている。 ・県産材の優先利用など適切に調達されている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・地域連絡協議会を開催し、公園周辺地域の団体や警察・消防の公園に対する意見を施設運営に役立てている。 ・文化の森において、地域の活動団体と協働して、地域ねこ活動を実施している。 ・公園の花壇において、地元小学校と連携した整備に取り組んでいる。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・防災対策マニュアルを作成し、安全管理体制、事故防止体制に取り組んでいる。 ・避難訓練を実施し、災害等発生時の対応体制が検証されている。 ・随時研修会などに参加し、積極的に技術の習得に努めている。 ・施設賠償責任保険に加入している。 ・個人情報保護要綱を整備し、職員に周知されている。 ・大規模災害の発生に備え、公園版BCP(事業継続計画)を作成している。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・不法投棄防止やゴミ箱・灰皿の撤去などを進めている。 ・夏季は管理棟の窓際でウリを育て、緑のカーテンとして夏場の省エネ対策に努めている。 ・選定作業などによる発生した樹木を細かく粉砕し、チップ化して有効利用している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・法定点検、各種届出を適正に行っている。 ・情報公開請求手続きについて、規程を整備している。
総合評価	A	適正な管理が行われている。

〈評価指標〉 S : 協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A : 概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B : 協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C : 管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

遊具等施設の老朽化、樹木の成長に伴う管理コストの増加が予想されるので、計画的な施設の維持管理及び修繕を行っていく必要がある。
テニスコート利用者数の増減については、屋外施設であることから、天候の影響を受けやすいが、コートの張替改修等により施設サービス水準の維持・向上に努め、利用促進を図る。